


退職者 NO.81

こだま会報



後期高齢者医療制度は 廃止して出直しを



箱根小涌谷「千条の滝」 (雨宮和雄さんの作品)

目次

- 総会報告……………①～④
元氣よくスタート／来賓挨拶／生方代表幹事挨拶／経過報告／決算報告／監査報告／方針案／物故者名／総会発言ほか
- 特別報告「今年から始まった指定健康診査・保健指導」……………⑤
- せいかつ短信……………⑥～⑫
- 趣味の会……………⑬～⑭
歴史教室／囲碁同好会／こだま俳壇・吟行／予告
- BOOK「貧困に襲いかかる阪神大震災」……………⑮
- 古怒田富士一
さんを悼む……………⑮
- 「県職員九条の会」学習会／絵手紙……………⑯

神奈川県職労連退職者こだま会第24回総会(6/25)

目標と計画の具体化へ 元氣よくスタート

梅雨の晴れ間の6月25日(水)、「退職者こだま会」は神奈川県自治会館で第24回定期総会を開きました。

会場には、「こだま会報」のバックナンバーや趣味の会のとりくみを紹介した写真、囲碁大会の記録、俳句の会の短冊、できたての合同句集Ⅱ『こだま』などが飾られ、参加者は活動の様子を見入っていました。

午後1時30分、幹事の登さんの司会で開会。会員総数は1325人、出席者は61人、委任状651人で総会の成立を確認、続いてこの1年のあいだに亡くなられた22人(3面参照)の会員の皆様へ黙祷をささげました。

議長に島田多嘉子さんを選出し、議事に入りました。

開会あいさつで生方代表は、



後期高齢者医療制度の導入では全国で怒りの声が上がっていること、たたかいが前進していることを紹介し、「今年も年金・医療・介護など身近な問題にとりくみ、元氣の出る事業を展開したい」と強調。来賓には県職労連や横浜市従退職者会、県高齢期運動連絡会などから連帯のあいさつをいただきました。

総会に先立ち、「今年から始まった特定健康診断」と題した特別報告があり、講師の神奈川県北中央医療生協の遠藤さんが事情で来られなくなり、代わって加藤事務局長が報告。この4月から始まった特定検診・特定保健指導の背景や問題点などをわかりやすく解説しました(3面に関連記事)。

〈2面に続く〉

生方代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の
生方武羅夫さん

この4月から始まった「後期高齢者医療制度」は、「平成の姥捨て山だ」と全国各地から抗議の声があがっています。
送られてきた国民健康保険の納付書を見る

者と対立させようとする意図がみうけられます。一方、県行政では県立病院の独立行政法人化問題をはじめ、試験

や今年の山口の衆院補選、沖縄県議会で与野党が逆転するという結果も出ています。私たちも引き続き「後期高齢者医療制度廃止」の

賛同していると言った意見が多く寄せられています。元気の出る明るい事業を、今年も展開して行きたい。

総会終了後は、2階の「ラウンジはま風」で懇親会。久しぶりの再会

* * *

続いて07年度経過報告(鳥居事務局長)、同会計監査報告(辻村監査委員長)を提案し、拍手で承認されました。
また、08年度活動方針案(山本副代表幹事)、同予算案(加藤事務局長)が提案され論議。参加者からは地域でのとりくみなどの発言があいつぎ、すべての議案を大きな拍手で承認。年金や医療、介護、税金、平和、趣味の会のとりくみなど、今年度の活動の目標と計画の具体化にむけ、元気よくスタートしました。

〈1面より続く〉

にあちこちで懇談の輪ができ、1時間余、飲物・軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。



来賓あいさつ(要旨)

ご一緒に地域医療と9条を守る運動を(県職労連書記長・連池幸雄さん)

県庁では6月のボーナスから評価制度が導入されるなど厳しい状況にあります。非常勤職員が2千人、正規職員が8千人の状況です。

全国的には、年収2百万円以下が1千万人を超えたと言われ、組合活動はますます重要になっています。

県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を充実させようと、3万人の署名が集まりましたが、これを50万人にしたい。また「県職員9条の会」の一員として全労連5百万人署

運動に参加して行くことはありませんか。総会出欠はがきの「短信」欄を見ると、身近な年金・医療・介護等に「こだま会」がとりくんでいることに賛同していると言った意見が多く寄せられています。

20年前、30年前ではバラバラであった年金者の組合や退職者会が全国的に組織されています。ご一緒に行動して行きましょう。

消費税は低所得者に大きな負担(県高齢期運動連絡会事務局長・新倉昭二さん)

後期高齢者医療制度は大きな問題になっていますが、政府は制度の骨子を変えずに、小手先の手直しで国民の追求をかわそうと必死です。

また、毎年社会保障費を2千2百億円削減し、さらに財源がないから

名をとりくんでいます。「こだま会」の皆様にも署名をお願いしたい。今後も皆さんと共に行動して行きたい。

全国の退職者会や年金組合がひとつになって(横浜市従退職者会副会長・深野忠好さん)

後期高齢者医療制度では、自民・公明両党は手直しを考えていますが、一時的な措置でなく廃止に向けて運動を展開して行きたい。

人生を75歳で区切り、別の制度で実施するなど、本来の保険制度に反します。保険はリスクの高い人、低い人が一緒に助け合うことで成り立つものです。山口の衆議院補選、沖縄県議選では自民・公明が負けている。国民の良識が分かれます。

〈2面から続く〉
と消費税を導入しようとしていま
す。低所得者層にとつては大きな負
担になります。今年の日本高齢者大
会(新潟)めざして、運動を進めて
行きたい。



各議案の提案

経過報告、決算報告、監査報告、
方針案の各議案は事前配布(『こだま
会報』第80号)のとおり提案されま
した。その要旨をお届けします。

●経過報告(鳥居事務局次長)

ねじれ国会の実現で、後期高
齢者医療制度は参院で廃止法案
が可決し、衆院で継続審議に
なった。県立病院を守り地域医

ほかに、来賓として全労済県本部
横浜支所長・向原伸秋さん、中央労
働金庫横浜支店渉外次長・秋山浩二
さんをご列席されメッセージをいた
だきました。ありがとうございます。

療を発展させるための署名は現在、
671筆寄せられている。松沢知事
に届けたい。「趣味の会」のとりくみ
は、世話人のご活躍で参加者が増え
ている。「会報」の大型化やホーム
ページも充実させてきた。「県職員九
条の会」への参加や横須賀への原子
力空母配備反対の署名運動にもとり
くんだ。現在会員は1、325人。
引き続き力を合わせて頑張りまし
ょう。

●決算・予算報告(加藤事務局長)

決算では、年会費が昨年比で10
口増え90口になり、終身会費も増え
61人になった(昨年46人)。また工夫
をして広報費や通信費を節約し、積
立金も増やすことができた。

予算案では、加入者が増えた分、
しっかり積み立てていきたい。この
1年で物故者が22人おられた。弔慰

金制度があるが、一人暮らしの会員
が増え、転居などで連絡もとれない
人も増えてきた。いつまでも元気で
頑張つてほしいという意味をこめて
この際、例えば「長寿祝金」制度に
移行したらどうか。皆さんのご意見
を参考にして、今後、幹事会で検討
したいと思う。

●会計監査報告(辻村会計監査)

帳簿等もしっかり管理され、適正
に執行されています。経費削減の努
力も認められます。

●運動方針(山本副代表幹事)

年金や医療、介護保険など社会保
障の充実を求め、高齢者の税負担軽
減、平和運動の推進、各種共済の充
実などにとりくみたい。「歴史教室」
や「俳句教室」「囲碁同好会」「食文
化を楽しむ会」「料理教室」「スキ
ュー」など「趣味の会」をさらに
充実させたい。「こんなことをやっ
てみたい」という方、大歓迎。「会報」
やホームページの充実も進めたい。
課題は山積しているが、みんなが
その気になれば世の中は変えること
ができる。力を合わせましょう。



鳥居 伸太郎氏
(事務局次長)



加藤 利秋氏
(事務局長)



山本 文子氏
(副代表幹事)



辻村 博氏
(会計監査)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます (順不同・08年6月25日現在)

片岡昭二郎 様 79歳	壺谷多実夫 様 73歳	大滝 昌子 様 79歳
諏訪 治正 様 75歳	伊藤美智子 様 75歳	小泉 宏之 様 76歳
長崎 義一 様 81歳	関 正道 様 81歳	田中 英子 様 89歳
石井 通夫 様 69歳	小瀬 源次 様 79歳	大田 光子 様 80歳
塩田 智之 様 87歳	宮崎 孝雄 様 64歳	木村 隆張 様 68歳
原田 宏一 様 78歳	斉藤みつ子 様 82歳	吉野希伊子 様 76歳
岡本 一二 様 84歳	石井十三夫 様 84歳	
田中ハツカ 様 87歳	阿左見 健 様 82歳	

☆この1年間に連絡のあった方で、昨年の総会以前に亡くなられた方を含みます。

身のめぐり剥ぎ取られゆく
淋しさよ逆縁の友は
次いで去りゆく

中澤 祥浩

参加者の発言・意見

「かもめ会問題」 つてなに



湯川 勉さん

活動日誌のなかに「かもめ会問題打ち合わせ」とあるが、中身を教えてほしい。また情勢報告のなかに介護保険をめぐって「調理費用の見直し」とあるが、「食費の見直し」とした方がわかりやすいのではないか。

「長寿祝金」制度の発足に大賛成



佐藤善治さん

会計報告で弔慰金(5千円)

の問題で役員から、たとえば「長寿祝金」に変えたらどうかという提案があったが、大賛成だ。生きているうちにいただきたい。皆さんどうですか(拍手)。



大貫多喜子さん

後期高齢者医療制度は廃止へ

「後期高齢者医療制度ができなくて、安心して暮らしていけない」と、みな怒っている。国会請願や地域での署名運動、年金からの天引き問題では不服審査請求運動をしている。廃止までがんばりたい。歳をとった

らバスを利用する機会が多くなる。津久井地域では市役所に行くのに1日がかりになるところもある。バス増発運動などをとりくもう。



榎本勝雄さん

健康問題の講演・学習会をいつも健康でいたい。どうしたら病院にいか

ないですむようになるか、講演などは病气予防のため、毎朝2時間くらい歩いている。



中原四郎さん

子どもを産み育てられる環境が大切 ブランコ遊びや子育てなど、

地域ではいろんな人たちが助け合っている。若い人達が手をつないで、子どもを産み育てられる環境づくりが大切だ。私はウクレレや折り紙、ゴルフ、海外旅行などを楽しんでいく。兵器と貧困をなくしたい。広い視点で活動しよう。



日原 輝さん

耐震診断の専門家の紹介を活動の目標と計画のなかに、「住宅のバリア

フリー化などの問題で信頼できる専門家を紹介します」とあるが、賛成。最近、地震が多発している。耐震診断の専門家もぜひ紹介してほしい。

発言・質問への回答

●「かもめ会」(県庁の退職者会)問題の懇談について

「かもめ会」への役員推薦問題で関係幹事が懇談した。「かもめ会」の役員は推薦母体が決まっております、そのひとつに県職労がある。県職労からは「こだま会」に、「会員のなかで、「かもめ会」に加入されている人を役員として推薦してほしい」と依頼がき

ている。この辺の認識の整理などを話し合った。

●後期高齢者医療制度について
夏の臨時国会にむけ、反対運動を強めたい。

●高齢者の交通問題について
公共交通としてのバスをどう守っていくのか。各地域で会員が積極的に運動に参加されるようお願いしたい。

●弔慰金制度の変更について
元気に長生きしたいという思いを受け止め、弔慰金制度を「長寿祝金」制度などにする方向で、幹事会で検討したい。

●健康問題学習について
わかりやすく話して下さる先生はたくさんいる。総会時がいいか、県央地域など集まりやすい場所がいいかなど検討したい。

●「調理費用の自己負担」の表現について
「食費の負担」とした方がわかりやすいとのことだが、ご意見として受け止めたい。

●若者の仕事の現状などについて
ひどい状況をどうしたら改善できるか、ご一緒に考えたい。

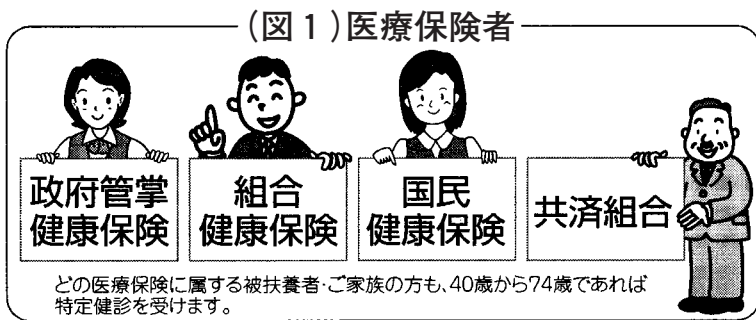
●耐震問題での講師派遣について
県民連絡会の「住まいと住環境を考えるかながわ懇談会」から、派遣など具体化できる。ご連絡を。



報告する加藤事務局長

後期高齢者医療制度に連動して 健診制度が変わる

今年4月発足の後期高齢者医療制度に連動して、健診制度が変わりました。この制度は「病気の早期発見」ではなく、目的を「メタボ」対象者と予備軍に限定し、健康を「自己責任」とするという問題を抱えています。総会で特別報告をした加藤事務局長に、改めて概要を解説していただきました。



(図2) 特定保健指導対象者の判定基準

ウエスト回り		どれか2つ以上	
男性：85cm 以上 女性：90cm 以上 または 男性：85cm 未満 女性：90cm 未満 だがBMIが25以上	+	①脂肪 ②血糖 ③血糖 (喫煙) 喫煙は①～③の リスクが1つ以上の場 合にのみカウント	=メタボ 該当者
	+	どれか1つ	=メタボ 予備軍
		①脂質 ②血糖 ③血糖	

(註)ウエスト回りが男性85cm以上、女性90cm以上、加えて脂質・血糖・血糖の3つに診断基準が設けられ、それらの項目の2つ以上に該当すると、メタボリックシンドロームと診断されます。

*BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m) = 25以上がリスクありと判定されます。

(図3) 健康受診者の3区分

情報提供レベル 区分者	メタボのリスクが少ない人。 ○健康な生活を続けていくための情報を得ることができる。
動機付け支援レベル 区分者	メタボのリスクが出始めた人で保健指導が1回行われる。 ○自分の生活習慣を改善する方法を知り、行動に移す。
積極的支援レベル 区分者	メタボのリスクが重なりだした人で、3～6ヶ月にわたり保健指導が行われる。 ○自分が実践できる目標を選び、継続的に実行する。

メタボ健診へ移行

これまで老人保健法に基づいて自治体で実施されていた基本健康診査が、今年4月から次の医療保険者(図1)による「特定健康診査並びに特定保健指導」を受けることになりました。

新しい健診制度では、内臓脂肪がベースになって起こるメタボリックシンドローム(以下「メタボ」)を見つけたことが中心となります。

健診後は、受診者を次のような判定基準(図2)により、3段階(図3)に区分し、保健指導がおこなわれ、受診者が自己責任で生活習慣を改善するよう指導されます。

◆特定健康診査対象者

40歳以上74歳未満の国民健康保険加入者↓「生活習慣病の要因となるメタボを発見するため、腹位の測定など新たな検査項目を加え、メタボ該当者とその予備軍となる人たちが

◆一般健康審査

75歳以上の後期高齢者医療保険加入者↓「健康管理のためのもので保健指導ではなく、受診も任意とされている」

◆生活機能診査

65歳以上の介護保険第1号被保険者が対象となる。

見だし、指導を行う」

「こだま会」総会への出欠葉書に寄せられた「短信」をお届けします。一行ものやぎっしり書かれたもの、「絵手紙」など様々でした。全体で159人から寄せられ、掲載者は135人でした。「こだま会」への要望や提案をはじめ、元気で出勤の方やボランティア活動に励む方、ゆったりと生活を楽しむ方、本当に喜ばしい限りです。一方、増税や後期高齢者医療制度の発足に怒り心頭で地域で奮闘されている方、体調を崩して闘病中の方も多く見られます。不安の解消、1日も早い回復を願っています。紙面の都合で、「総会のご成功を」「幹事の皆様、ご苦労様」などの趣旨の「短信」は割愛させていただきます。順不同で、一部省略や文字の変更をしております。

(編集部)

せいかつ短信

様々な情報をいつも有難うございます。
(和田智雄)

元気で毎日、動いています。

(小山直次)

今年もまた、夫の体調が悪く入院手術をし、残念ながら欠席をさせていただきます。

(平能芳子)

「会報」では、「こだま会」の活動や身近な社会情勢がよく理解でき、毎回楽しみにしております。

(曾我芳子)

いつも「会報」をありがたうございます。

(佐田浩子)

水曜日は公民館活動の日です。公民館活動・ボランティア・自然観察会等で忙しくして居ります。

(望月一孝)

左下肢運動機能障害リハビリ中です。
(松岡道子)

体の調子があまり

り良くないので、植木の手入れ、水くれ、家庭菜園の手入れ等少しやっています。

(北村武雄)

高齢者になっても元気で働ける人には就労のできる社会環境を作ってほしいものです。犯罪の多い今日、人の心の闇に光はないでしょうか。



写真提供・青沼慶祐さん

院します。ベテランの先生と神様を信じて良くなるように頑張ります。総会の日がちょうど手術の日です。
(鈴木志げ子)

母(92歳)が昨年10月末、脳梗塞で倒れ、意識障害。胃ろうとなって厚木市立病院に入院していましたが、「病状がおちつい

たから」と5月17日、長期療養型病院へ転院させられました。部屋代等が多額で月20万円ほどかかるうえ、3ヶ月・6ヶ月でどこかへ移らなければならず、不安な毎日です。お年寄りが安心して医療が受けられるよう、みなさんと政治を変えなければと思っています。
(千島ミツ子)

難聴に眩暈・耳鳴り物忘れ(俳句のつもりです)。現状はさらに痴呆症が加わって来ているようです。
(渡部 勇)

退職してはや15年になります。毎日仕事に行っております。
(川島 大)

人並みに老化現象? 白内障の手術をしたり、風邪から喘息を併発したりと5月の日々をすごしてしまいました。私、大磯住まいなので趣味の会への参加もなかなかできず失礼して居ります。
(船橋雅子)

駅のない市。そして我が家は市街化調整区域のおかげで庭畑があります。在職中に植えた粗放果樹や野菜の収穫を楽しみに、休息しながら、草むしりに追われています。ジャムやママレード(夏かん)・ジュース等の加工も、もったいないから作っております。絵や味噌作り(大豆栽培)の仲間もできました。大変な仕事は、地域のシルバー人材センターに依頼しています。
(遠藤正子)

いつも「会報」を送付下さり有難うございます。いま健康に優れませんが頑張っております。(矢澤 宏)

雲流れ時も流れて水流れその末えずして我も浮草
(村崎亮一)

3年早く退職し、入会しました。
(張戸寿典)

「こだま会報」の記事について、政府や政治の批判だけでなく、明るい話題や県庁の動き等をもっととりあげ、読んで楽しい内容にしてほしい。
(山本 茂)

退職して4年日になります。何とか元気に過ごしております。

(茨木三智夫)

私は変形性膝関節症の手術を受けることになり、入



総会会場に飾られた俳句の短冊をみる

年々、手取り額の減る年金を頼りにして、何とか恙がなく暮らしておられます。傘寿などと喜んでおられず、八十路の坂をどこまで登り切れるか。後期高齢者などと区別されて…。もう後がないということでしょうか。

(田中和子)

退職後20年、毎々情報・ご案内をいただき感謝申し上げます。「後期高齢者」と決め付けられたものにとつては、この会とのつながりが重い存在として感じられます。(蜂谷吉光)

健康が第一と思いい、月5回程度のゴルフを楽しんでいます。雨のときはキヤンセルして財布・小物入れ・キーホルダーなど作って楽しんでいきます。足柄峠近くにある「万葉うどん」で、先日マイハシを持参して美味いうどんをおかわりしました。すると勘定の時・おかわり1杯分サービスすること。当店はエコ対策

として、マイハシ持参のお客様にも感謝の気持ちを込めて1杯サービスするのでそうです。美味しいうどんに体もあたたまり、心もあたたまった1日でした。

(奥津弘久)

いつも、「こだま会報」を楽しみにしております。

(竹原 仁)

外出の多い日々を元気に過ごしています。

(行谷愛子)

いつも貴重な情報をありがとうございます。知人のご活躍の様子など楽しく読ませていただいております。

(大原 茂)

わたくし事、膝を痛めて歩くのに大変です。欠席させていただきます。皆々様にお会いしたいのです。話もしたいです。残念です。早く良くなるように毎日リハビリに行っています。

(横山善助)

現在考えることは、神奈川県で一生懸命に仕事にとりくんだ時が一番なつかしく思います。

(松村美知子)

歩行困難、車椅子半分、押し車半分、手帳あり、毎週2回内科、地元整形週2回。ヘルパー週3回、看護師隔週、通院は社会福祉協議会から出ている障害車で送迎されている生活です。

(中村正子)

走り続けています。ランニング日誌を付け始め、1983年1月1日から08年5月2日までのランニング走行距離を集計したところ6万3千

16kmで、地球を1・57周したことになります。子供の頃から日誌を付け始める前までの距離を加えれば地球2周程度でしょうか。生涯地球? 5周の距離10万km走破を目指します。

(渡辺雄之介)

まあまあどうにか、元気で毎日大事に生活しています。(会川宮子) 昨年12月19日入院、21日手術。東京有明癌研1月退院(胃癌)。

(林 和平)

営業活動しています。(鳥津要二) 『春秋左氏伝』を(岩波文庫本)読んでいて「詩」とか、「石南の」「昔鳥巢」とか出てくると、その箇所と

それに対応する箇所を『詩経』(明治書院・新釈漢文大系)『書経』(同上)から読み出してノートに書き写しています。『左伝』は全3冊のうち残り1冊なので、次の本をどれにしようかと…。

(牛尾隆幸)

時々腰が痛くなつて困っています。

(家城レイ子)

元気で毎日忙しくしております。

(加藤登喜)

生きていることは大変楽しいですね。大日本帝国憲法(明治22年2月11日発布、明治23年11月29日施行)が改正され、日本国憲法(昭21年11月3日発布・昭和22年5月3日施行)が生まれ61年目。我々日本国民が平和で生活できるのも、この憲法の

おかげ。もっと大切にしなければ…。この憲法第9条違反が目立つ人が多くなつてこまりものですね。

(大野知多夫)



原子力空母の配備に反対する横須賀集会(7月13日)

2年前に交通事故を受け、体調は余り良くない状態です。(柘澤 覚) 元気に暮らしております。旅行が好きで、年何回も行っています。

(堤 正敏)

地域・九条の会等で活動しています。2010年に向けて、政府は派兵法を成立させ国民投票法で憲法改悪が否決されたとしても、海外派兵ができ、戦争ができる国にして行くとうとしている。今日、私は2010年が日米安保の50年に当るので、10年ごとの見直しをしっかりと、この機会に日米軍事同盟(安保)の廃止を訴えて行きたい。そのうえで、本来の憲法に戻ることを訴えていき

(鎌田利治)

「こだま会報」を楽しみにしております。今号は活字が大きく大変読みやすく感謝します。内容も政治経済や老後の生活保障問題、会員の活動状況など大変幅広く、参考になります。私はまだ働かせてもらっていますが、働ける健康や家族に日々感謝しております。余談ですが、「生きていくことが奇跡の一つ」と、あるテレビ番組で聞いたことがあります。

(増村一夫)

元気で充実した毎日を送っています。毎週水曜日は、皆勤していることがありますので…。

(小林泰夫)

毎日元気です。

(市川幸夫)

お陰様で今のところ大病とも縁がなく、毎日平々凡々な暮らしを繰り返しております。

(宮手多助)

県庁在職24年、大学教授14年間、あつという間の人生。そして今、人生の終章にあたりお世話になった社会への恩返しのため市民活動(NPO)に従事しております。

(大川照雄)

平成元年、脳梗塞になり右半身不自由です。

(石塚幸雄)

お陰様で変わりなくすごしています。体調悪く、担当医から禁酒するよう指導されています。従って宴会等には欠席するよう心掛けています。

(吉澤良美)

(小澤武夫)

日ごろはお世話様になり有難うございます。おかげさまで、元気で暮らしております。

(石崎博美)

今回の「会報」は、紙面、活字とも大きくなり読みやすくなり、ありがとうございます。生活の方は年なりに過ごしています。

(川村キサ)

地域の方々と囲碁クラブをつくり毎週2回と年3回、大平荘で泊りで囲碁対局を楽しんでいます。

(佐藤 弘)

「こだま俳壇」を楽しみに拝見しています。

(田野倉一夫)

元気にやっています。

(長田茂夫)

ますます暮らしていく世になっていきますが、若い人達の間でいま小林多喜二の「蟹工船」が読まれているとか、ちょっとうれしく思っています。

(白井りつ子)

地元の年金者組合伊勢原支部で、後期高齢者医療問題の廃止を求めて活動しています。「こだま会」の第24回総会では、生活を守る立場から一層の努力を期待いたします。

(岩澤幸雄)



富良野でスキーを楽しむ

皆さんは若い時のようにお元気ですか。古希の誕生日を祝ってもらった数日後に、市役所から国民健康保険高年齢受給者証なるものが送られてきました。病院に、今までの保険証とともに出しなさい、そして負担は3割だよと…ときたもんだ。ちよいと前までは70歳以上は1割になるんじゃないのかい。こりゃ詐欺じゃねーのかな？

若い頃は病氣も
しないので、せっせ
せつせと高い保険
料を払ってきたの
にさ。(戸塚 忠)

「囲碁会」を盛んにしたいと、次の
囲碁サロンを開設
しました。囲碁サ
ロン 碁楽亭・池
田賢。茅ヶ崎市新
栄町2-2 鳥元ビ
ル3F

まもなく70歳代の大台。いままでは感じた事も余りなかった体の衰えを実感しています。

(池田 賢)

今年もキノコ狩り、よろしくお願
いします。船での釣りなどでもでき
ると良いですね。

(横山民子)

私の会でも「後期高齢者医療制度」
の説明があり母の代理で参加しまし

た。この制度が医療改悪の氷山の一角で全てが知らされていないこと、老人会長、役員も出席、問題が多い。会ぐるみで署名活動も起こっており。普段は文句を言わない人々が怒っています。食糧品値上げで近くのスーパーで88円の卵(1パック)に行列でした。

(戸田晴美)

元気で仕事をしています。いつも何かとお世話になり、ありがとうございます。

(鈴木教夫)

同期友人も本年3月にて県職を退職されたことでしょうか。たいへんご苦労様でした。私は地元市役所を1年早く退職し校区公民館で働いております。「こだま会報」で横浜の情報を知るのが楽しみです。

(田中 讓)

私も80歳を過ぎ、仲間がだんだんと他界していくので寂しい限りです。特に児玉学兄先輩を失ったことは、何とも言いようがありません。

(坂本孝八)

新緑にいのち息吹を感じるこの季節。20年度の事業計画もスタートします。加齢で遠出は出来ませんが、皆様のご多幸をお祈りいたします。

(鈴木敏昭)

先月沖繩に行ってきました。ひめゆり資料館に修学旅行らしき中高生が多勢見学していました。「何か」を掴んで帰ってくれば。

(石川清子)

お陰様で、健康体で70歳を迎えました。今年も畑から梅を収穫しました。青梅の砂糖づけに、酒に、梅干しづくりにいろんな調理方法があります。梅は健康を維持するために大変よい食べ物と思います。今年も頑張ります。
(鹿郷真弘)

すでに退職して8年になりました。老後は悠々と思っていました。良いことも(息子の結婚・子孫の誕生)、悪しきこと(主人の死)等、激動の日々でした。最近落ち着いた日々を送っております。皆様どうぞお元気で。
(山野澄子)

年齢相応に元気で。今年の天候は、このところ晴天が続いているので家庭菜園の手入れに没頭です。バスによる山登りも相変わらず行っております。
(懸田 護)

自分は体調その他の事情でお役に立てませんが、陰ながら応援させて頂いております。担当の方々も中高齢の身、お体に注意され、「こだま会」の発展のためにお力添えを。
(相馬孝彦)

健康に注意し生活をしています。散歩と読書とパソコンをしています。
(佐藤 武)

懇親会で楽しく交流

総会終了後、16時30分から神奈川県自治会館2階の「レストランはま風」で懇親会が開かれました。会員の中



ウクレレ演奏で盛り上がる

原四郎さんは、昔懐かしい歌集14曲(ふるさと・ともしび・みかんの咲く丘等)を選曲した印刷物を用意して、自らウ

クレレを演奏し、懇親会を盛り上げていただきました。ありがとうございました。
(吉澤)

に過しております。(小島 工)

「こだま会報」を毎回楽しく読ませていただいています。懐かしい顔ぶれに接して、現役の頃を思い出したり、元気に暮らしていることを知り励まされています。世情は格差拡大に向かつてまっしぐらの感があります。大多数の幸福のために「こだま会」の発展を願っています。現在まだ再任中で当日は出勤日のため欠席します。
(計良竹次)

拙著・永井秀尚「王朝の挽歌 小説小倉百人一首裏絵巻」(叢文社刊・完成1月)出版しました。(鈴木良明)

元気に過しております。俳句を習っています。青芝に足を投げ出し雲掴む——自作です。下手ですが。

元気で暮して居ります。皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。
(吉谷英子)

年なりに元気で。(荻野喜作)

家族の一員として生活していた愛する老犬が4月5日、旅立っていき、心に隙間が出来たような気持ちです。数えてみると、教えもしないのに40を超えるお手伝いをしてくれました。いまは庭の清掃だけでポーツとしています。
(遠山 淳)

元気にやっています。各種ボランティア活動も体力・気力が続く限りガンバリたい。減量目標を平成21年

元旦までに60kgペースに設定しました。(伊藤 治)

歴史散歩会など、楽しい企画に参加したいと考えています。
(横井 博)

「会報」を楽しみにしています。私事ながら、歩行困難のため6月初旬入院いたします。
(朝日信義)

週2日働き、大和の仲間との飲み代を確保しています。「憲法9条やまとの会」では第3回の催し「爆音の街から『生きさせろ!』やっぱ9条」。戦争と貧困そして憲法という大変長い? テーマのシンポを5月24日に3百人を超える市民参加により成功しました。
(岸 靖之)

「告げられし余命半ばや蜚狩り」手術後3年、治療に通院しながら1日1日を大切に、その日まで心豊かにありたいと暮しています。気持ちひとつでも元気で。紙面の文字が大きくなって読みやすくなり、ありがたい事です。
(榎本恵美子)

借りた畑へほぼ毎日元気に行っています。
(登坂克男)

現在は、地域の自治会で環境対策の責任者として頑張っています。また、公園愛護会の責任者として10名程度のボランティアの人達と、地域にある3つの児童公園の清掃や花壇管理に勤めています。
(市川 清)

先日、アジサイの葉にカタツムリが居るのを見つけました。梅雨の風物詩かなと思いつつ眺めていました。会員の皆様も初夏から梅雨の時期どう過ごされていますか。ジトジトした日が続きそうですが、仕事に遊びに頑張りました。今年は先約があり出席できず残念です。

(新倉仙太郎)

北相支部が参加する県「相模メーデー」に欠かさず参加し、現役の方々、OBの方々に会い旧交を温めています。総会はじめ諸行動力サークル活動に参加できず申し訳ないです。平成大合併反対から政令市移行反対へと継続して闘っています。

(太田 颯)

このところ特定の人のコンサートやリサイクルにしょっちゅう出かけています。脳梗塞で右側にまひが少しあって、その上こころで肩の関節にひびが入っているのに、「痛い、痛い」とつぶやきながら、伊勢とか仙台の方まで出かけています。バカですね！ 松葉杖で歩いています。

(海老原文江)

英語読みをやっています。高3の孫から英語で話しかけられると、頭が真っ白になります。80歳の手習いで物はならないでしょうが、ボケ防止と脳の活性化で、孫の成長を見続けようと努めています。(日比野貞美)

「こだま会報」がA4版となり、読みやすくなりました。歴史教室など面白そうで、機会をみて参加したいと思っています。(大竹 功)

以前より「料理教室」に興味を持っており、参加させていただきたいと思っておりますが、連絡先(申込先)等教えていただければありがたいです。(村山 登)「こだま会」事務所までどうぞ。045-212-13179です。(編集部)

リハビリ中。歩行不自由。(原口明朗)

昨年から再任用。退職前と同じ職場(県央地域県政総合センター)、同じ仕事(森林保全課)をしています。この4月に県北地域県政総合センターを統合、担当地域・仕事も増える。職場に新たな新しい再任用の仲間曰く、「ずいぶん忙しい職場ですね!」。まだ、愛甲支部の役員の末席をけがしています。

(阿部 豊)

本年3月に県職員から民間人へ。そして「こだま会」へ入会しました。よろしく願います。安心して老後を過ごせるよう、頑張らなければと思うこの頃です。(石田啓子)



交流で大会 囲碁

栄をお祈りいたします。私は間もなく傘寿になります。お陰様で元気に暮らしています。(建畠富廣)

昨年12月より民生・児童委員になり、地域福祉のため活動しています。週2回、食品会社で仕事をしています。表示項目が多くなり、「本当にこんなに必要なのか」との思いが強いです。(阿部毅正)

日々平穩。感謝! (中村貞雄)

後期高齢者の真只中の私です。怒っています。けれど勉強会などに参加しないから逃れられない。老いと病の日々。いかに薬を飲まないようにするかの生活。現在の体調を維持するかという課題に向き合っています。(鶴田賀陽子)

転居して3年目に入りました。いまでは、主人の実家の田んぼなどの手伝いをしながら、野菜作りを楽しんでいます。また春先にはフキノトウ。コゴメ・ワラビ・竹の子などを収穫し、テーブルの上にあがります。とてもおいしくいただいております。(石田澄子)

病気になるまいよう気をつけています。最近、絵を習い始めました。

頑張りたいと思います。(手代木昭八)

退職して6年目を迎え、遊びに遊んで退職金はほぼ使い果たしました。後は年金のみでポチポチの毎日です。しかし、体のあちこちにガタが来始めて、しみじみ老化を痛感しています。でも動けるうちは楽しく暮らしましょう。(吉田綾子)

どあんない



県職労連退職者こだま会

**「生麦事件」跡探訪と
キリンビール横浜工場見学**

秋の1日、みんなで楽しいひとときを過ごしましょう。生麦事件の歴史的意義を考えたり、ビールの製造工程を見たりしながら交流しましょう。

日 時 10月10日(金) 午後1時
集合場所 京浜急行生麦駅前

申込先 県職労連退職者こだま会
電 話 045-212-3179 (火曜日のみ)
F A X 045-212-3178 (随時)

地区では退職公務員の地区委員で活動しています。元気でやっています。 (丸山春信)

年金だけでは生活できそうになく、不安です。 (小澤加代子)

国内、国外とも大変な状況にあると思います。そのなかで頑張つて頂きたいと思います。県立病院は足柄など存続できることを希望します。 (池田とし子)

「こだま会報」の定期発行には大変感謝しています。壮年部の料理教室にはだいたい参加してきましたが、今後もある限り参加したいと思いません。無趣味な者・体調の悪い者でも何か参加できる気軽な会があったらよいなと考えます。 (後藤貞夫)

現在は自分なりの趣味を楽しんでいます。県職のお仲間との交流も大切に、お陰で健康ですので地域活動にも参加し老後ますます楽しく過ごしたいと思えます。 (多村洋子)

「長生きは肩身の狭い世の中よ」。これに反発して意地を張って行こうと思えます。 (鈴木義朗)

健康とボケ防止のため、探鳥会・自然観察会や環境モニターなどボランティア活動を続けています。自然とのふれあい、人とのふれあいを大切に、楽しんでおります。

若いつもりで過ごしていますが、 (塩沢徳夫)

年齢のせいか少し体をこわし歩行困難しています。最近の政治、後期高齢者医療制度の問題、差別医療による負担増、いろいろな署名をやる度に怒りが大きくなってきました。中国の地震では、友人(中国人)に電話したら無事だったが、何か救援したいと思っています。「会報」が80号からA4版になりよく見えるようになりました。有難うございました。 (明田剛一)

高齢者いじめのいやな時代になりましたが、元気で一生懸命生きています。私も後期高齢者になりました。 (小島信明)

後期高齢者医療に仲間入りして、79歳になりました。きびしいですね。 (木島良夫)

只今NPO箱根園芸福祉の森で週1、2回ボランティアをしています。知的障害者と一緒に里山作りや有機野菜作りに励んでいます。 (竹下純則)

「長寿医療制度」なんて美名に負けず、健康に気をつけていきたいと思えます。「こだま会報」も80号でB版からA版へ変わり大変良いと思えます。編集発行ご苦労様です。毎回良い情報をいただき感謝しております。 (吉井 進)

年々歳を重ね、今年傘寿を迎えました。現在、老人クラブ会長で会員の

皆様と一緒に生きがい活動に向かって頑張っております。 (佐藤 肇)

70歳をこえて足腰がいたくなりましたが、なるべく歩くようにしています。6月10日には県庁入庁37年の同期会を開きます。 (荻原昭英)

元気になっています。 (中山岳美)

毎日、年金者組合の活動で忙しく過ごしております。後期高齢者医療制度では街頭署名、学習会を計画し、皆さんの怒りの大きさを感じています。その声を持って厚生労働省や国会行動に参加して、国会議員に訴えています。 (大貫多喜子)

5月26日から30日まで、兵庫県で開催された「全国古希野球大会」(41チーム参加)に県代表として出場しました。結果は、準決勝まで勝ち進み、5対5で特別ルールにより第3位でした。また10月に古希、G古希野球関東大会が横須賀で開催されるので、出来れば出場したいと思っております。菜園は30種類の無農薬野菜を作っています。雑草との戦いで苦戦しています。 (齋藤孝治)

「こだま会・歴史教室」を通じて、①読む、②話す、③聞く、④書く、⑤見ることによって、暮らしに潤いをもたらし、豊かな生活を送るきっかけになればと思っております。 (佐藤喜治)

おすすめの1冊

『ことばの道章』 岩波書店辞典編集部編

◇この本は『岩波新書』には含まれている(栗(しおり)で紹介されている「ことば」を集めたものです◇「語源をたずねると、「ことば」が身近になる。語義の変化を知ると「ことば」の豊かさを実感する。「はじめに」より◇普段何気なく使っている



「ことば」、こんな意味があり、別の読みもあるのかと驚かされます。『広辞苑・第5版』の編集のなかから生まれた本。辞書とは違って、読みやすく楽しめるものです。とんでもない使い方方も直ります◇岩波新書(新赤版)別冊6。1999年1月刊。560円+税。 (木村武子)

おかげさまで何とか元気で暮らしています。2ヶ月に1度の僅かの年金が、その度毎に少なくなり家内が悲鳴を上げています。何とか対策をお願い致します。「こだま会」をたよりにしています。(鈴木公彦)

地元の諸活動で多忙な毎日です。健康を損ねて(音声障害)、若干不自由な生活です。(日原 輝)

最近、退職者の「こだま会」入会が少ないのでしょうか。会員が高齢化しているようです。趣味の会も高齢化して新加入者も少なく、年寄りの会を呈しています。定年直後の若い会員にがんばっていただいで、登山部やハイキング部などスポーツを楽しむ趣味の会を活発にしませんか。(湯川 勉)

「北海道スキー」の皆さんは、元氣・元氣。昼間はスキーで、夜はコンサート、カラオケ、本当に元気で楽しいスキー旅行です。私も3団体を運営しており、今シーズンは40日位スキー場に行きましたが、「こだま会」のスキーが一番滑りました。また来シーズンも元気で皆さんにお逢いしたいです。(榎本勝雄)

近況の意見のないところが意見です。まあ何とか息をしているから、生きている証拠。閻魔庁からかたたきが来るまでと思つて秘湯めぐりをやっています。もうすぐ百箇所に

なります。(山崎重夫)

4月に息子が結婚し、2人の子供が新生活をスタートさせたので、これで親の責任を終了(?)しました。部屋もすっきり片付けてシンプルライフにしようと思いつつ、何かと雑用も多く、大してはかどらないまま1日が過ぎてゆきます。合間には地元で「9条の会」のとりくみや後期高齢者医療制度廃止のピラを配ったりしています。(鳥居千珠子)

この4月から「こだま会」に加入させていただきました。県職員として33年間無事勤務することが出来ました。ようやく「退職」するという気持ちと、これからの人生を考える機会にもなりました。現在は、今まで勤務していた産業技術短大に再任用職員として忙しく毎日過ごしています。(松本正治)

囲碁は地元も含め楽しみです。後期高齢者医療制度は廃止を！ 公立病院を増設し医療福祉の充実を！ 医師・看護師等スタッフを拡充し安価な料金に！(谷村 寛)

再任用フルタイム扱いで、神奈川県労連の議長をしています。9月で任務を終える予定です。いま労働者・国民の声と運動で政治は変わっています。総選挙に向けこの秋の闘いが、これからの政治に大きな影響を与えるのではないのでしょうか。(片野憲

二) 久しぶりに「こだま会」から送られた署名(地域医療の充実)をとりくみ、すがすがしい気分になりました。(佐藤榮一)

6月12日から7月上旬までの予定で、島根に来てしまいました。昨年秋から、3週間ごとに島根と神奈川県を行ったり来たりしております。母が90歳を過ぎて、次第にひとり暮らしが難しくなつて、生活支援・見守りが必要になってきました。島根では、農作業・山仕事・食事作りなどで過ごし、神奈川県では憲法・社会保障・地方自治・政治ボランティアなど二重生活をしております。6月

15日には「隠岐ウルトラマラソン(50km)」で、制限時間(8時間)をいっばいに「使つて」完走を果たすなど、「衰え」に逆らつて健康と体力の維持(実際には年々後退を余儀なくされています)にも留意しております。(中原保彦)

申し訳ありませんが、腰痛のため欠席させていただきます。(細江恒秋)

膝痛のため欠席しますのでよろしくお願ひします。(長瀬 昇)

体調をくずしておりますので参加できなくて残念です。(我妻洋子)

体調不備につき残念ながら欠席。(山口 勇)

「こだま句会」が合同句集Ⅱ『こだま』発行

◎「こだま句会」は6月19日、待望の合同句集Ⅱ『こだま』を発行しました。

◎毎月1回の定例句会(第3木曜日、午後1時から)での研鑽や吟行を重ね、6年ぶりの発行です。

初心者からベテランまで、14人がそれぞれ15作品を寄せています。お求めは「こだま会」事務局(045-2121-3179)まで。1冊300円です。

◎「こだま句会」は楽しい句会です。皆さんも、気軽に参加してみませんか。



お求めは事務局まで

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道
と一緒に歩きましょう!!

教室 歴史散策 長尾砦・ 田谷洞窟へ

6月16日(月)、JR大船駅10時集合。柏尾川沿いの県道を避け、旧道で「長尾砦跡」へ向かう。横浜・鎌



▲長尾台の御霊神社にて

◀田谷洞窟「定泉寺」



倉両市境の住宅地を抜け小高い森へ登ると、まもなく平坦な農地が広がる頂上へ出た。山頂にこんな平地が広がっていると想像に難い。この一帯が「長尾砦跡」である。
この砦跡は三方が切り立ち、一方は砦を守る空濠がある。中央にこもりとした笹藪の小山があり、これ

が砦跡ではないかと講師の説明。この砦は戦国時代、長尾氏の屋敷跡に築かれたとのこと。長尾氏は、鎌倉にある御霊神社の祭神・鎌倉権五郎の子孫で、この地に住む長尾の性を名乗ったのが始まりで、越後の長尾景虎も350年位離れているが、長尾氏の末裔といわれている。大河ドラマでの神秘的で凜凜しい勇姿が目につかぶ。

砦跡から北へ少し降りると、「長尾台御霊神社」がある。合戦で倒した敵の霊をまつり、祭神とするのが御霊信仰と言われ、全国に数多くある。
鎌倉時代この地は梶原氏が治めていて、領内に13あった御霊神社の一つで、こぢんまりとした神社である。

長尾台地を降り、田植えのすんだ田園を「田谷洞窟」へと向かう。土の農道の感触が心地良い。途中、車に敷かれたヘビと用水路を泳ぐヘビに遭遇し、「これは縁起が良い」との会員の声に一同驚いたり領いたり。
「田谷洞窟」は鎌倉時代の初期、修業僧たちの求道の行としてノミと植

をふるい、江戸中期まで、長年の歲月をかけてつくった修業道場である。各自はローソクを持ち、水が染み出る洞内へ入る。洞内を迷路のように走る通路は1・5kmに及び、随所に点在する仏像や経文は2百体。

碁会 囲碁同好会 「囲碁祭り」も盛大に

2003年9月に登さん、米山さん、木村さんの幹事で囲碁同好会を立ち上げ5年を経て、今年8月に60回の例会を開くことになりました。

07年からは労働プラザの「囲碁祭り」に共催で参加することになり、「こだま会」会員以外の方々の参加も増えています。また、例会以外に年1回の段級位戦、忘年囲碁大会な

主に江戸時代の作とのこと。そう固くない岩盤とは申せ、丹念な造形技術に感嘆する。
今回の参加者は10人。中村講師の軽妙な解説に聞きながら、梅雨の晴間の散策だった。(秋元孝男)

どを開いています。

会場は横浜駅西口徒歩2分と場所的には好立地の碁会所「有心」です。会費は今年から物価高騰の余波をうけ、600円から700円となりました。電車賃と昼食代を考えるとかなりの負担ですが、毎回平均して10人ほどの方が集まります。

私事ですが、例会が始まった時点で12級くらいだったのが、5年を経過した今は1・2級に力がアップしました。これも月1回ですが、例会に参加して実戦の囲碁を打つ機会に恵まれたおかげかと思っています。

また、日曜日に放送されるNHK囲碁講座やタイトル戦を視聴したり、時には録画して何回も見直したりするようにもなりました。(青沼慶祐)



こだま俳壇(7月)

梶子や農家の夫婦寡黙なり

井村 友彦

青田道移動小売に馴染み客

小川 水草

住み馴れし家にクレーンカンナ咲く

木村 武子

夏舞台江戸人情の泣き笑い

島田多嘉子

垂れ籠めし雲を盗みて濃紫陽花

白井保次郎

放牧の牛が教えるわらびかな

白石 為康

燃油高鳥賊は一息太平洋

島海 敏雄

車椅子ゆかたの帯に手を添えて

中村 桂子

五つ星ペランダ産のミニトマト

松尾佐知子

川伝う釣人のピク鮎光る

三井 光子

さくら咲く病床で輸血生き返る

横川美代子

八百茂や児にたたかして水瓜選る

山本つぼみ

新緑の信濃・塩の道を行く

合同吟行

新緑まだまだやわらかな信濃に6月4日から5日、1泊2日の合同吟行(けやき・山百合・こだま3句会)のバス旅行に参加しました。こだま



合同吟行に参加した「こだま句会」の皆さん

句会では、山本つぼみ主宰を始め7人の参加です。

関東地方の梅雨入りが例年より早く、台風まで来ていたので天候が危ぶまれたのですが、晴天とはいえないまでも雨が上がり決行されました。

黄金色の麦と田植えしたばかりの青々とした田んぼが、都会から行く私たちを優しく迎えてくれます。

まず、池田町にある「わだつみの像」を訪ね、「所感」を残して散った特攻隊員・上原良治を悼み、町民の力で碑を建て守り続けていることを知り、感動を覚えました。

「ちひろ美術館」「白馬ジャンプ場」、続いて訪ねた小谷村の「塩の道(千国街道)。林を縫って伸びる道の傍ら

に様々な姿の百体羅漢さま、塩を運ぶ牛、馬、人が泊まった牛方宿など、往時を物語ってくれました。

麦の秋歩荷を偲ぶ塩の道

スキー宿に泊まり、夜の句会の予定が流れたので、蛙の声を聞きながら早々と休みました。

翌日、ゴンドラで「白馬梅の森自然公園」にも行く予定は残念ながら中止です。代わりに、大町の「塩の道博物館」や「山岳博物館」に寄り、昔の人たちの暮らしぶりや、時代の流れに触れることができました。

句会はバスのなかでやることになりましたが、秀句もたくさん出て楽しく、初めて参加した方にも吟行が励みになったと思われます。(島田多嘉子)

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室 (講義)
 - テーマ 源頼朝と範頼について
 - とき 9月8日(月)
 - ところ 横浜合庁5階会議室
 - 申込先 電話&Fax 045(361)0112(佐藤喜治)
- 歴史教室 (散策)
 - テーマ 日本武尊を迫って走水へ
 - とき 11月10日(月)(予定)
 - 申込先 電話&Fax 045(361)0112(佐藤喜治)
- 囲碁同好会
 - 月例会 (毎月第1日曜日)
 - 9月7日・10月5日
 - ところ 囲碁サロン「有心」(うしん) 横浜駅西口大洋ビル6階
 - 会費 700円
 - 申込先 こだま会事務局 045(212)3179 登豊吉045(824)7155 青沼慶祐045(782)7665
- 俳句教室
 - 月例句会 (毎月第3木曜日午後1時~)。旅先での吟行も。初心者歓迎。楽しい句会です。
 - 9月18日 10月16日
 - ところ こだま会事務所
 - 指導 山本つぼみ先生(阿夫利嶺主宰)
 - 会費 500円
 - 申込先 こだま会事務局 045(212)3179 又は小川政則 042(742)2253
- 食文化を楽しむ会
 - とき 11月中旬(予定)
 - ところ 横浜市健康福祉センター(調理実習室)JR「桜木町」駅前
 - テーマ 風邪予防の薬膳料理
 - 先生 上野多恵子さん(会員)
 - 会費 1800円
 - 申込先 上野多恵子045(831)8372 亀井禎子045(332)4061 山本文子03(3728)2227

古怒田富士一さんの逝去を悼む 生方武羅夫

「こだま会」の前会計監査・古怒田富士一さんが2008年7月2日逝去された。

古怒田さんは1995年度から2006年度まで6期12年間にわたり、「こだま会」の会計監査を務められ、高い識見をもとに、会計処理・財産管理の仕方について適切な指導・助言をしてくださった。なお、この間、県職労の推薦によりかもめ会（県職員退職者会）の副代表幹事を2期6年間務められた。

また、「こだま会」で最も長い歴史をもつサークル『歴史教室』の世話人として、その活動発展に寄与された。歴史教室が現在もお、活動を続けられているのは古怒田さんのご尽力によるところが大であった。

私たちが古怒田さんの病気を知ったのは06年4月18日に行われた会計監査のときであった。その席で「人間ドックの検査で、脾臓に腫瘍のあることが分かり、4月20日に精密検



査の予定です。入院・手術の可能性がある」とおっしゃっていた。その後、東海大学伊勢原病院に入院、手術して退院後次第に健康を回復、役員会や「会報」発送作業にも参加されるようになった。

しかし、07年6月22日の「こだま会」総会で会計監査報告をされたのを最後に、健康を理由に役員を退かれた。私たちが最後に古怒田さんのお元氣なお姿に接したのは、同年7月24日に開かれた新旧役員の懇親会の席であった。

古怒田さんはダンディでダンスをよくし、声量豊かで、いつもはつきりした口調で説得力のある発言をされるのが常であった。その姿はいまも私たちの脳裏にはつきりと焼きついている。

古怒田さんの写っている写真をみると、笑顔が多い。その「破顔一笑」がどれほど仲間の気持ちを和やかにさせてくれたことか、と誰もが言っている。古怒田さんには、もともと長く私たちを導いていただきたかったが、それも叶わぬ夢となってしまった。

古怒田さん。長い間、本当にありがとうございました。どうぞ、安らかに眠りください。

BOOK



発行＝花伝社。いのうえせつこ著。四六版・200頁。1785円。

いつ起こるか解らない地震。近くは岩手・宮城大地震の被害者がまだ見つかからない状況をふまえて、大都市での地震災害がどんなものであったか、知っておく必要があるのでは。

今年1月、13年を経過した阪神・淡路大震災の実態に迫った『地震は貧困に襲いかかる』が出版されました。著者が以前に住んでいた地縁を活かした2年間に及ぶ取材と、膨大な資料を読み込んだ渾身の作です。

『地震は貧困に襲いかかる』を読む

新井 通子

経済力の無さ故に、長い間不自由な避難所生活を強いられ、病気で亡くなった人も少なくありません。やっと入れた仮設住宅や復興住宅でも、住み慣れた土地での人間関係がなくなり、孤独死も相次ぎました。長年ホームレスの支援活動を続け、また、高齢者や子ども虐待、女性問題など多くの社会問題を手がけてきた著者が、その根源にある経済格差を地震災害があまり出たことに気付き、書かずにはいられなかったものです。

横浜市では耐震診断を行い、補強工事に助成金を出すことになっていますが、その予算が毎年消化されないということは、本場に必要なのに住む人が自己負担できないために、放置されているのではと思われず。

福祉政策としての住宅対策が家賃補助に止まっていること、国の現状に対し、私たちがもっと声を上げるべきではないでしょうか。

著者紹介 本名 井上節子。横浜市中区在住。現在民事調停委員。子ども・平和・女性・障害者などの市民運動を経てフリーのルポライター。

県職員
九条の会

信仰の違いを超えて



宗教家・森修覚氏を招き「平和の集い」

郎さんのレポートをお届けします。

夏の「平和の集い」など、宗教者が積極的に平和運動にかかわってきている姿を、いろいろな場面で見聞します。「県職員九条の会」では直接その声を聞いてみたいと日本宗教者平和協議会(略称:宗平協)事務局長の森修覚さんに講話していただきました。

〈森修覚さんの講話(要旨)〉

「神奈川県職員九条の会」は7月11日、宗教家の森修覚氏を招いて「平和の集い」を横浜駅西口のかながわ県民センターで開催。県職員・OBなど30人余が集いました。鳥居伸太

天理教・新宗教などの宗教者が、互いの信仰の違いを超えて、世界の平和と人類の幸福に寄与するため、ともに団結して活動する運動体です。心の平和はすべての人々の幸福なしには達成されません。戦闘が絶えず、差別と抑圧が止まず、環境が破壊されている状況の中で、真実の平和を得ることはできません。過去の「戦争の責任」を深く懺悔・反省し、なお続く戦争・人権侵害・環境破壊を強行する勢力に対して、その危険と悪を取り除くことを宗教者の使命であると自覚しています。

絵手紙



奥津弘久さんの作品

こだま会「料理教室」のご案内

(県職労連壮年部と共催)

地中海料理『パエリア』に挑戦



とき 9月13日(土)10時~16時
ところ フォーラム南太田
京浜急行「南太田」駅下車
徒歩3分
料理師 鳥居伸太郎さん(こだま会)
費用 2千円
持ち物 タオル・エプロン
申込先 県職労連・中村又はこだま会事務局。045(212)3179

〈訂正とお詫び〉

前号2面の見出し「第23回定期総会」を「第24回定期総会」に、5面「北海道スキー」の「全体の先生・榎本さん」を「全体の先生・稲本さん」に訂正します。

編集 後記

◆ある会員の話。「税金の還付があるから携帯を持ってATMへ行くようにと親切な電話があった」◆手の込んだ振込め詐欺があつたを絶ちません。「自分は引つかかるはずが無い」と思っている人ほど被害にあうとのこと。

◆どうか、充分すぎるほどのご注意を(と)

森修覚さんは真宗大谷派に属し、教団が第2次世界大戦時に、宗門の竹中僧侶が反戦を唱えたことを排除し、戦争に協力したことを反省しています。1995年には教団の最高決議機関である宗議会・参議会は、侵略戦争に協力した歴史を懺悔(さげ)する「不戦決議」を採択、2005年には宗議会が「日本国憲法『改正』反対」を決議しました。

また、憲法9条で禁止している「交戦権」を認めることは、人を殺しても犯罪にしないことを認めること、宗教者のねがいは地獄(戦争)、飢餓(欠乏)、畜生(恐怖)のない国にすること、宗平協は憲法「九条の会」よりも早くから運動をはじめ、「宗教者は生命を賭しても、平和護持の運動を起し宗教の本領に努める」と話しました。(鳥居伸太郎)